

わが家のアイドル



あくつちはる
阿久津千晴くん
パパと遊んでごきげん♪
(野坂町)



たなべ はると
田辺 悠叶くん
食べるの大好き♪
(上町)



ちしま つわぎ
千島 紬葵ちゃん
食べるの大好き♥
食いしん坊♪
(近戸町)



みやまえ ゆずは
宮前 柚花ちゃん
ご飯とお歌と
にいが大好き♥
(阿保町)

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで。)抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

「小学生と高校生のふれあい体験」

秩父農工科学高等学校



2年ぶりに、「小学生と高校生のふれあい体験」を実施することができました。コロナ禍において、3密にならないように人数を制限し、実施しました。夏季実施予定7講座中、7月は4講座を実施することができましたが、残念ながら8月予定の3講座は「緊急事態宣言」が発令され、中止しました。7月26日、機械システム科では「モデルロケットの製作」が行われ、完成後はグラウンドでロケットを発射させました。27日、森林科学科では小学2年生から6年生までの8人の小学生が参加し「シジュウカラの巣箱」を製作しました。児童たちは、高校生に教わりながら板を組み合わせてくぎを打つ作業に、一生懸命取り組んでいました。29日、食品化学科では「焼き菓子」「プカプカ酵母ビーズの不思議」を行いました。30日、ライフデザイン科では「リバーシブルのトートバック作り」を行いました。高校生は小学生との交流を通し、通常授業では学ぶことのできない、地域との関わりを学ぶことができました。秩父農工科学高等学校では「地域および地元小中学校等と連携した教育活動を推進」してまいります。



市民文芸

短歌

馴れ初めを孫に問われたじじばばの記憶はなかなか一致をしない
濁流の狂えるごとき形相は人に憎しみもつかのように
おひるどき弁当なき子は校舎裏に土用の暑き終戦の年
売場にて瞬時の涼を感じ見る亡父が最後に食べし鮎あり
残り布思ひ出集め縫い合わせパッチワークを飾れる部屋へ
私の歳になったらわかります義母の口ぐせ知る年になる
風呂の中 一、二、三とスクワット気を強く持ち続けておりぬ
ありがとうコロナワクチン接種でき体調無事を願っておりぬ
夫の亡き後を気づかい息子・孫遠くに暮らすにライン度々
庭の枇杷熟れたるを知らず野鳥たち葉陰枝陰賑わいを見す

〔評〕 大仙さん、老いを的確に、ユーモラスに詠っていてほほ笑ましい一首です。榎本さん、擬人化した迫力のある詠い方、見事です。村田さん、当時は食糧難で、弁当を持ってこない子が何人もいたのですね。和子さん、売り場で鮎を目にして、突然亡き父を思い起こされた心温まる一首です。栗原さん、懐かしさが伝わってくる作品です。西さん、歴史は繰り返す、でしょうか。木村さん、元気に過ごされているご様子、何よりです。浅賀さん、接種されても無理されませぬように。千島さん、やさしい息子さんやお孫さん、すてきです。設楽さん、野生動物の生命力はたくましいですね。

※次回10月号は俳句を掲載します

綾部 光芳 選

吉田久長 齋藤 大仙
黒谷 榎本 久
近戸町 村田 有
下吉田 齋藤 和子
荒川日野 栗原トク子
道生町 西 弓子
桜木町 木村 一枝
下影森 浅賀 ツネ
三峰 千島サマ井
小柱 設楽 悦子

短歌、俳句の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず通常はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。

短歌 9月末締切→11月号に掲載
俳句 10月末締切→12月号に掲載